

千葉県環境基本計画〔改訂版〕の発行にあたって



千葉県は、緑豊かな房総丘陵、九十九里浜をはじめとする美しい海岸線、様々な生物が生息・生育する里山や里海など豊かで多様な自然に恵まれており、これらの自然は、生活の基盤や憩いの場として、県民をはじめ多くの人たちに潤いと豊かさを与えています。

県では、この美しい千葉の自然を次の世代へ引き継いでいけるよう、平成 20 年 3 月に「千葉県環境基本計画」を策定し、地球温暖化対策、資源循環型社会の構築、豊かな自然環境や良好な大気・水環境の保全など、様々な環境施策を推進してきました。

しかし、計画策定から 7 年が経過し、この間、東日本大震災における福島第一原子力発電所事故で排出された放射性物質への対応や再生可能エネルギーの導入促進、微小粒子状物質（PM2.5）問題の顕在化など、本県の自然環境や生活環境をめぐる状況は大きく変化しているところです。

そこで、こうした新たな環境問題への対応、法令改正や県の条例制定、個別計画の策定等の状況を踏まえ、このたび計画の見直しを行いました。

次世代を担う子どもたちが「千葉で生まれて、住んで、働いて良かった」と誇りに思えるような、自然環境豊かな魅力あふれる「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向けて、県民・企業・行政など様々な主体と連携した「オール千葉」の体制で、計画を着実に推進してまいりたいと考えています。引き続き、皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 3 月

千葉県知事 森 田 健 作

目 次

	ページ
序 千葉県環境基本計画の見直しの背景	4
第1編 計画の基本的事項	8
第2編 今後の千葉県の環境政策の視点	15
第3編 施策の展開方向	18
第1章 地球温暖化防止に取り組む	23
第1節 温室効果ガスの排出量削減	24
第2節 森林などによる二酸化炭素吸収の確保	33
第3節 オゾン層保護のためのフロン対策	37
第2章 豊かな自然環境の保全・再生と生物多様性の確保	41
第1節 生物多様性保全に向けた総合的施策の展開	42
第2節 自然公園等による優れた自然環境の保全と活用	48
第3節 森林・農地・湖沼・沿岸域の環境の保全と再生	53
第4節 都市における緑と水辺のネットワークづくり	59
第5節 野生生物の保護と管理	64
第3章 資源循環型社会を築く	73
第1節 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	74
第2節 廃棄物の適正処理の推進と不法投棄の防止	82
第3節 バイオマス利活用の推進	87
第4節 残土の適正管理	92

第4章 安心できる健やかな環境を守る	97
第1節 良好な大気環境の確保	98
第2節 騒音・振動・悪臭の防止	107
第3節 良好な水環境の保全	113
第4節 良好な地質環境の保全	122
第5節 化学物質による環境リスクの低減	128
第6節 放射性物質による環境汚染への対応	134
第5章 環境を守り育てる人づくり・ネットワークづくり	137
第1節 環境学習の推進	138
第2節 環境に配慮した自主的行動と協働の推進	143
第3節 「ちば環境再生基金」の充実と活用	148
第4節 県域を越えた連携と国際環境協力の促進	152
第6章 環境を守り育てるための共通的・基盤的な施策の推進	157
第1節 環境と調和のとれた土地利用の推進	158
第2節 環境影響評価制度の充実	162
第3節 環境情報の提供と調査研究体制の充実	166
第4編 計画の推進	170
参考資料	179
用語解説	180
環境基本計画策定経過	202
千葉県環境基本計画策定委員会委員名簿	203
千葉県環境審議会委員名簿	204
千葉県環境基本計画推進会議及び同幹事会	205